

《農業振興に関するアンケート調査結果報告書》

I 調査概要

1 調査の対象

高松市内の10 a 以上の農業経営を行っている世帯 12, 777戸

2 調査の方法

郵送による配布・回収

3 調査期間

平成29年12月18日（月）～平成30年1月31日（水）

4 回収状況

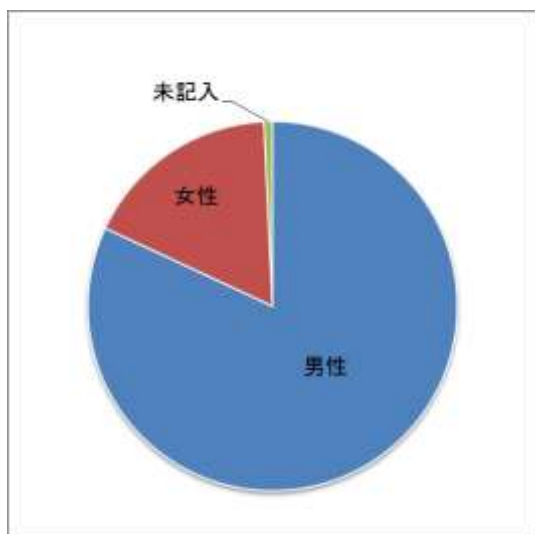
回収数 5, 547 回収率 43. 4%（締切り後の回収分も含みます。）

◎注意事項

- ① 割合はすべて百分率で表し、少数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ② 複数回答が可能な質問があるため、回答の合計が調査数を上回ることがあります。

Ⅱ 調査の結果

【問1】あなたの性別を教えてください。 <1つに○印>



項目	回答数	割合
(1) 男性	4,545	82.0%
(2) 女性	961	17.3%
未記入	41	0.7%
合計	5,547	-

回答者の性別は、男性が82.0%、女性が17.3%で、男性の方が多くなっています。

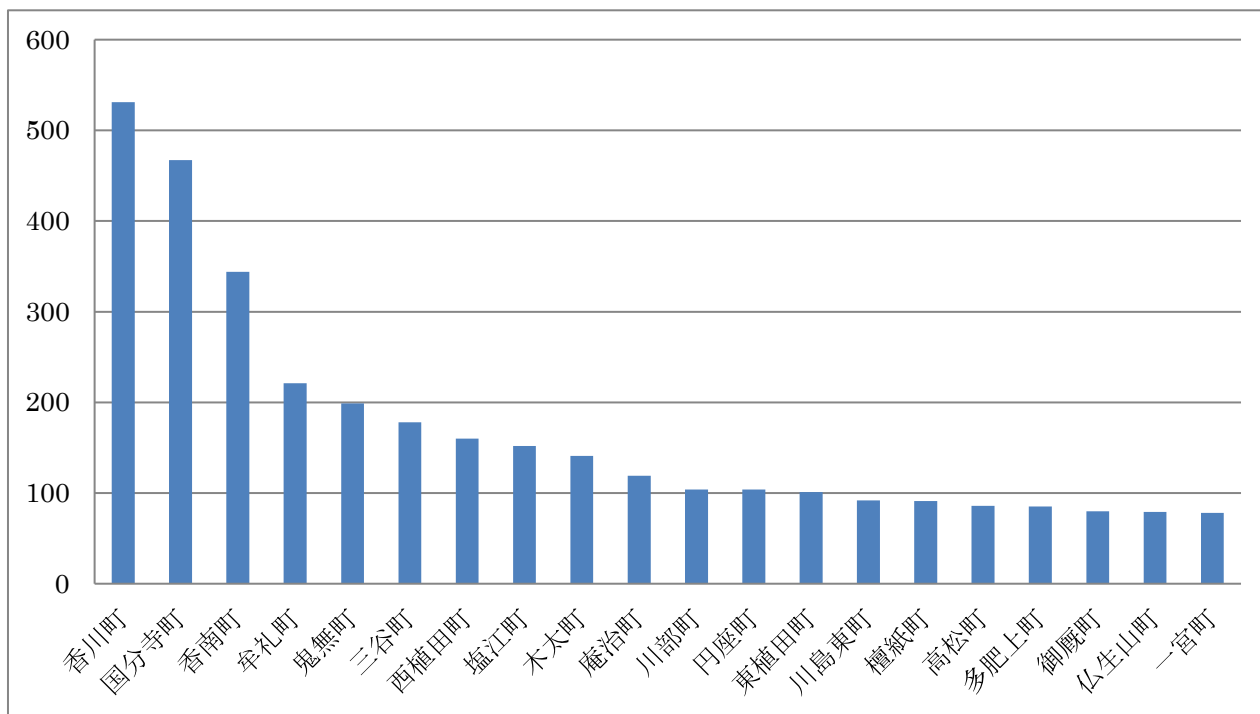
【問2】あなたの年齢を教えてください。 <1つに○印>



項目	回答数	割合
(ア) 10歳代	0	0.0%
(イ) 20歳代	4	0.1%
(ウ) 30歳代	26	0.5%
(エ) 40歳代	106	1.9%
(オ) 50歳代	450	8.1%
(カ) 60歳代	1,908	34.4%
(キ) 70歳代	1,866	33.6%
(ク) 80歳以上	1,179	21.3%
未記入	8	0.1%
合計	5,547	-

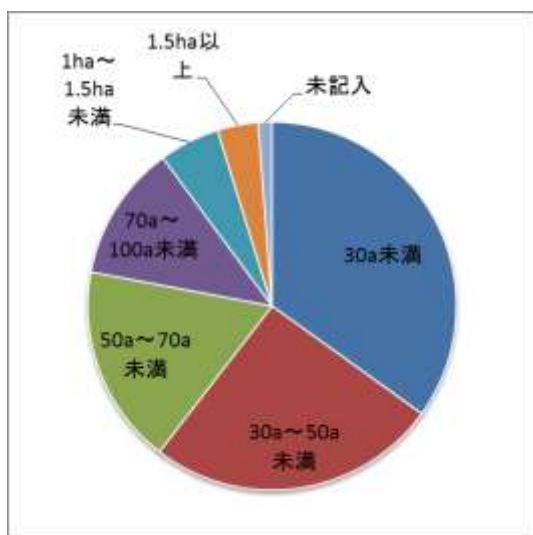
回答者の年齢は、60歳代が34.4%、70歳代が33.6%と多く、80歳以上も含めると、回答数の約9割が、60歳以上となっています。

【問3】あなたのお住まいについて教えてください。



回答が多い順に 20 町のみ表記しています。(※回答のあった町：112 町)

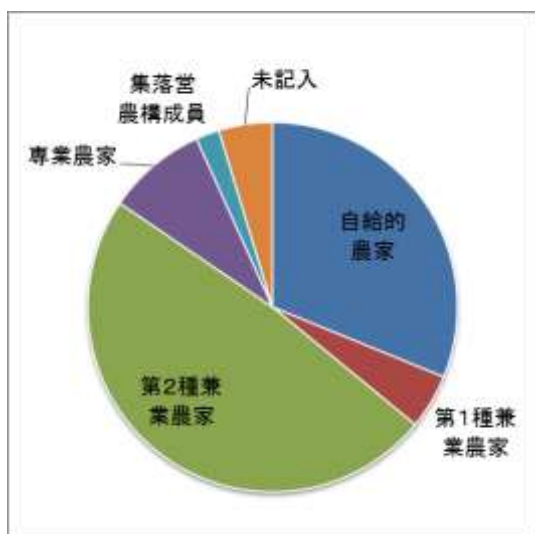
【問4】あなたの世帯は、どのくらい農地（水田や畑地、果樹園等で、借入地を含む）を保有していますか。＜1つに○印＞ ※10a（1,000㎡）≒1反



項目	回答数	割合
(1)30a未満	1,938	35.0%
(2)30a~50a未満	1,416	25.5%
(3)50a~70a未満	971	17.5%
(4)70a~100a未満	662	11.9%
(5)1ha~1.5ha未満	295	5.3%
(6)1.5ha以上	198	3.6%
未記入	67	1.2%
合計	5,547	-

各世帯が保有する農地の面積は、30a 未満が 35%と最も多く、30a~50a 未満の世帯も含めると全体の約6割が、50a 未満となっています。

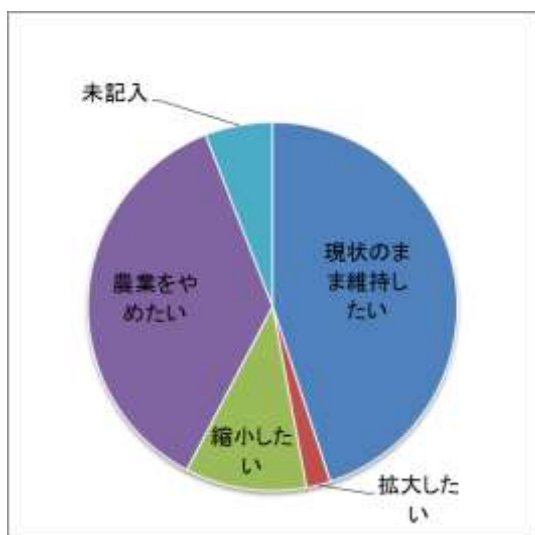
【問5】あなたの世帯は、次のどれに当てはまりますか。〈1つに○印〉



項目	回答数	割合
(1)自給的農家	1,729	31.2%
(2)第1種兼業農家	266	4.8%
(3)第2種兼業農家	2,693	48.5%
(4)専業農家	484	8.7%
(5)集落営農構成員	114	2.1%
未記入	261	4.7%
合計	5,547	-

世帯の内訳は、第2種兼業農家が48.5%と最も多く、次いで自給的農家が31.2%となっており、約8割の世帯で農外所得が主となっています。

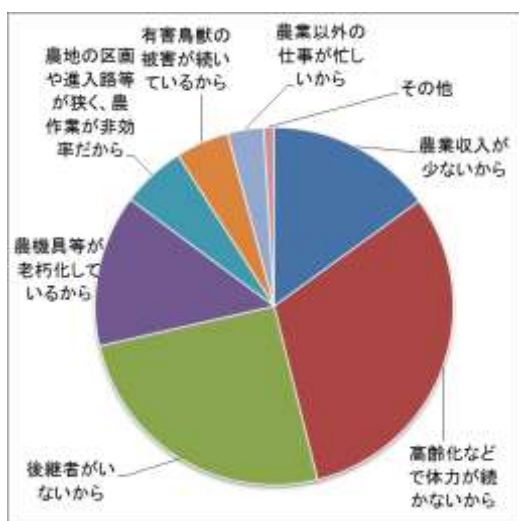
【問6】あなたの世帯のおおよそ10年後の農業経営についてお聞きします。



項目	回答数	割合
(1)現状のまま維持したい	2,493	44.9%
(2)拡大したい	117	2.2%
(3)縮小したい	590	10.6%
(4)農業をやめたい	2,019	36.4%
未記入	328	5.9%
合計	5,547	-

10年後の農業経営については、「現状のまま維持したい」が44.9%を占める一方、「農業をやめたい」が36.4%、「縮小したい」が10.6%で、合わせて47%の世帯が、農業経営を縮小する方向で回答しています。

【問7】問6で「(3) 縮小したい」又は「(4) 農業をやめたい」を選ばれた方は、その理由をお聞かせください。＜複数回答可＞



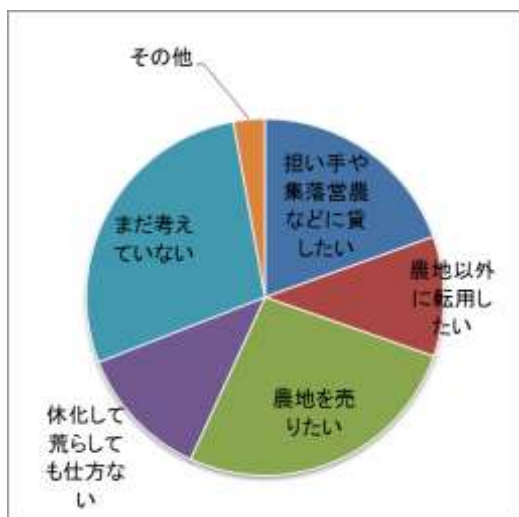
項目	回答数	割合
(1) 農業収入が少ないから	981	37.6%
(2) 高齢化などで体力が続かないから	2,033	77.9%
(3) 後継者がいないから	1,656	63.5%
(4) 農機具等が老朽化しているから	900	34.5%
(5) 農地の区画や進入路等が狭く、農作業が非効率だから	379	14.5%
(6) 有害鳥獣の被害が続いているから	315	12.1%
(7) 農業以外の仕事が忙しいから	213	8.2%
(8) その他	61	2.3%

※複数回答のため、回答数に対する割合となっています。

- (8) その他の意見
- ・ 耕作放棄地になっている
 - ・ 農業をしていない
 - ・ 事業者から貸してほしいと言われた

農業経営を縮小、又はやめたいと回答した理由は、「高齢化などで体力が続かないから」が、77.9%と最も多く、次いで「後継者がいないから」、「農業収入が少ないから」、「農機具等が老朽化しているから」の順で多くなっています。

【問8】問6で「(3) 縮小したい」又は「(4) 農業をやめたい」を選ばれた方は、耕作しなくなる農地をどのようにしようと考えていますか。＜1つに○印＞



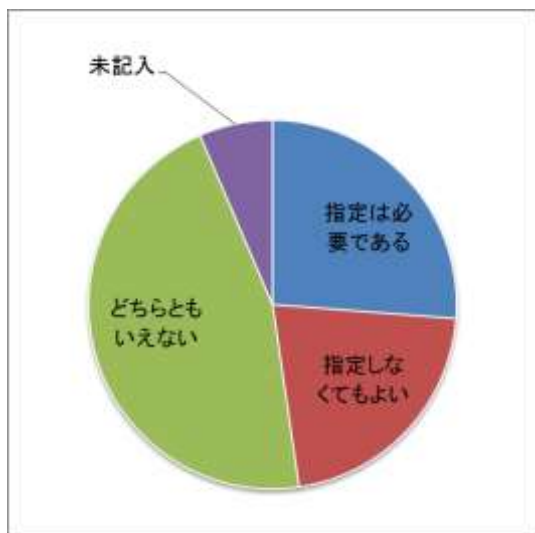
項目	回答数	割合
(1) 担い手や集落営農などに貸したい	519	19.9%
(2) 農地以外に転用したい	290	11.1%
(3) 農地を売りたい	705	27.0%
(4) 遊休化して荒らしても仕方ない	325	12.5%
(5) まだ考えていない	748	28.7%
(6) その他	76	2.9%

※複数回答があるため、合計割合が100%を超えています。

- (6) その他の意見
- ・ 草刈りなどの維持管理のみ
 - ・ 借入地の返却
 - ・ 耕作放棄地になっている

農業経営を縮小、又はやめたいと回答した世帯が、今後、農地をどうするかについては、「まだ考えていない」が28.7%と最も多く、次いで「農地を売りたい」、「担い手や集落営農などに貸したい」、「遊休化して荒らしても仕方ない」となっています。

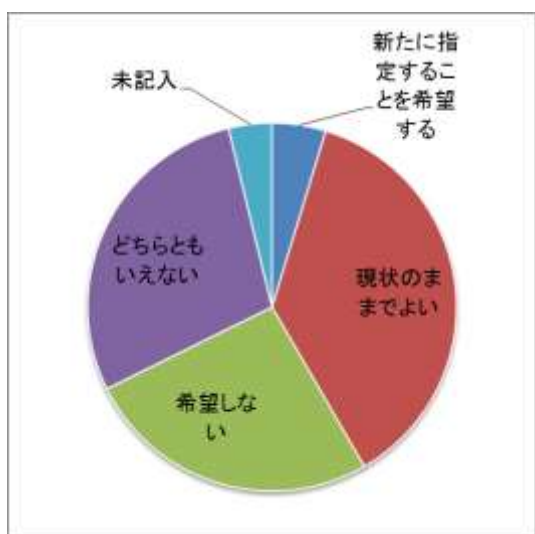
【問9】農業振興地域制度は、農業振興を図るべき地域を定め、農地保全・利用と農業の近代化を計画的に推進し、農業の健全な発展を図ることを目的としております。また、各種土地改良事業・中山間地域等直接支払制度・荒廃農地等利用促進事業などの補助事業は、農業振興地域内の農用地区域（青地）と指定された農地が対象で、農業を継続する上で優遇措置がとられております。こうした制度により、農地を指定することについて、どう思われますか。〈1つに○印〉



項目	回答数	割合
(1) 指定は必要である	1,454	26.2%
(2) 指定しなくてもよい	1,192	21.5%
(3) どちらともいえない	2,543	45.8%
未記入	358	6.5%
合計	5,547	-

農用地区域の指定については、「指定は必要である」が26.2%、「指定しなくてもよい」が21.5%、「どちらともいえない」が45.8%となっています。

【問10】あなたの世帯が所有する農地を、農業振興地域内の農用地区域（青地）として、継続、又は新たに指定することを希望しますか。〈1つに○印〉



項目	回答数	割合
(1) 新たに指定することを希望する	261	4.7%
(2) 現状のままでよい	2,050	37.0%
(3) 希望しない	1,443	26.0%
(4) どちらともいえない	1,582	28.5%
未記入	211	3.8%
合計	5,547	-

農用地区域の新たな指定については、「現状のままでよい」が37.0%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が28.5%、「希望しない」が26.0%となっています。

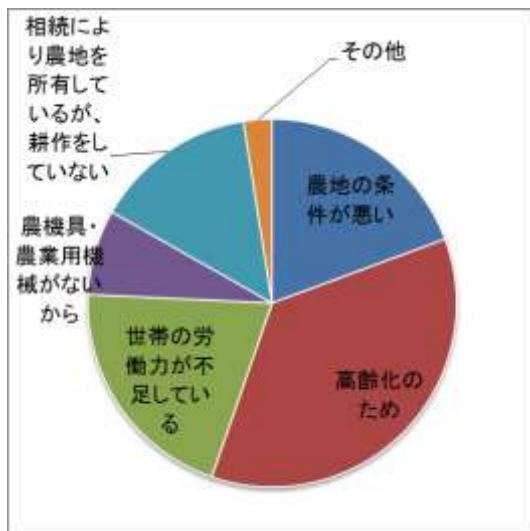
【問11】あなたの世帯の農地に耕作放棄地（過去1年以上作物の栽培や管理をせず、なおかつ、今後、数年の間に再び耕作する予定のない土地）がありますか。＜1つに○印＞



項目	回答数	割合
(1)ある	1,654	29.8%
(2)今後、5年以内に出てきそう	738	13.3%
(3)ない	2,950	53.2%
未記入	205	3.7%
合計	5,547	-

各世帯が保有する農地の状況は、「耕作放棄地がある」が29.8%となっており、「今後、5年以内に出てきそう」を含めると43.1%を占めています。

【問12】問11で「(1)ある」又は「(2)今後、5年以内に出てきそう」を選ばれた方にお聞きします。耕作放棄地になる理由は何ですか。＜主たるもの2つに○印＞



項目	対象者数	割合
(1)農地の条件が悪い	793	33.2%
(2)高齢化のため	1,447	60.5%
(3)世帯の労働力が不足している	823	34.4%
(4)農機具・農業用機械がないから	301	12.6%
(5)相続により農地を所有しているが、耕作をしていない	574	24.0%
(6)その他	100	4.2%

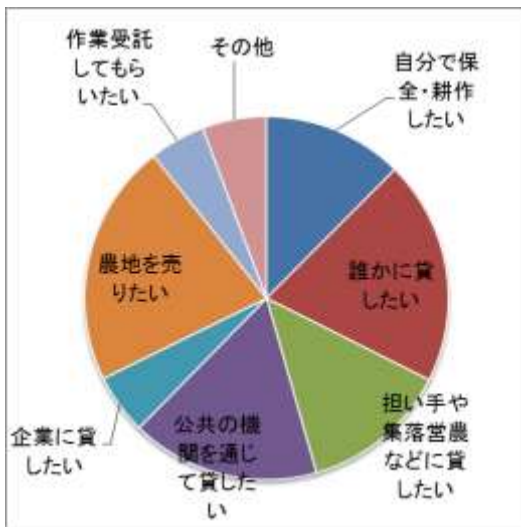
※複数回答のため、回答数に対する割合となっています。

(6) その他の意見

耕作放棄地になる理由は、「高齢のため」が60.5%と最も多く、次いで「世帯の労働力が不足している」が34.4%、「農地条件が悪い」が33.2%となっています。

【問13】問11で「(1)ある」又は「(2)今後、5年以内に出てきそうだ」を選ばれた方にお聞きします。耕作放棄地をどのように解消しようと思いますか。

<3つに○印>

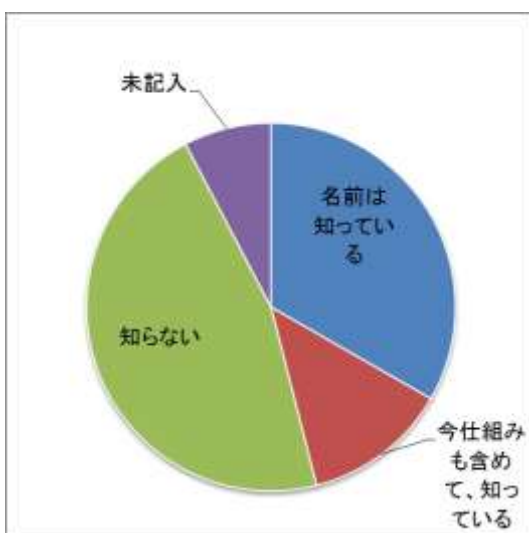


項目	回答数	割合
(1)自分で保全・耕作したい	500	20.9%
(2)誰かに貸したい	801	33.5%
(3)担い手や集落営農などに貸したい	528	22.1%
(4)公共の機関を通じて貸したい	673	28.1%
(5)企業に貸したい	215	9.0%
(6)農地を売りたい	868	36.3%
(7)作業受託してもらいたい	199	8.3%
(8)その他	229	9.6%

※複数回答のため、回答数に対する割合となっています。

耕作放棄地の解消方法は、「農地を売りたい」が36.3%と最も多い一方、「誰かに貸したい」、「公共の機関を通じて貸したい」等の貸付け希望が92.7%（同一世帯の重複回答を含む）となっています。

【問14】農地中間管理機構（香川県農地機構）は御存じですか。<1つに○印>



項目	回答数	割合
(1)名前を知っている	1,847	33.3%
(2)仕組みも含めて、知っている	706	12.7%
(3)知らない	2,568	46.3%
未記入	426	7.7%
合計	5,547	-

農地中間管理機構を「知らない」が46.3%と最も多い一方、次いで「名前を知っている」が33.3%で、「仕組みも含めて、知っている」が12.7%となっており、合わせて46%が、農地中間管理機構を知っていると回答しています。

【問 1 5】農地中間管理機構を利用したいと思いますか。〈1つに○印〉



項目	回答数	割合
(1)現在、利用している	329	5.9%
(2)過去に利用したことがある	60	1.1%
(3)将来、利用したい	1,863	33.6%
(4)利用したくない	1,657	29.9%
(5)その他	788	14.2%
未記入	850	15.3%
合計	5,547	-

農地中間管理機構は、「将来、利用したい」が33.6%で最も多く、「利用している」「利用したことがある」を含めると約4割が農地中間管理機構の利用に前向きである一方、約3割が「利用したくない」と回答しています。